

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	奏		
○保護者評価実施期間	令和7年3月7日		令和7年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和7年3月7日		令和7年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月22日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節感を感じられるような遊びや屋外活動、月一回の創作活動(壁画)を行っている。また、畑で野菜を育て、収穫し、調理し、食べるといった一連の流れを感じられるような食育活動を行っている。また、年に1回の日帰り旅行を企画し、様々な経験ができるように工夫を行っている。	ものづくりや畑仕事など職員の得意分野を活かした活動を取り入れている。活動の中で失敗してしまうこともあるが、そこもまた経験として次に活かせるようにしている。また、事業所の垣根を越えて法人内の生活介護と交流会を兼ねた運動会を企画している。	様々な専門職が在籍する事業所であるからこそ、それぞれの専門性を活かし療育活動に反映していきたい。
2	個別支援計画や個別発達支援計画の作成は、丁寧な二ーズ整理後、課題を分析をしている。	事業所の特性を活かしたり、家庭や学校、他事業所と協同で行うことを併せながら計画している。	上記同様、様々な専門職が在籍する事業所を活かし、個々の二ーズや課題達成のための支援を強化していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害の発生に備えた避難訓練等行っているが、保護者への周知が不十分である。また、法人内の他事業所からの連携職員や非常勤職員への情報共有が不足している部分がある。	避難訓練に参加したご利用児様の保護者様には、実施した旨伝えているが、不参加のご利用者様には改めてお知らせ等できていない。また、職員会議に参加する職員は限られているため、議事録は作成しているが周知徹底が図れていない。	保護者様に限らず、様々な方に周知できるようSNSの活用をさらに進めていく。また、職員会議に不参加の職員へも議事録の回覧を徹底し、情報共有に努める。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や地域のこどもと活動する機会が不十分である。	放課後等デイサービスの為、主な利用は下校後の短時間となる。そのため、地域のこどもたちとの交流となると熱中症リスクのある夏休みや感染症リスクのある冬休み等に限られてしまう。実施は難しい実情にある。	障害がある利用児にとっても、そうでなくても交流することはお互いにより刺激になると考える。今後、取り組める方法を検討していきたい。